

ガーデンハウスはまむらく定期巡回> R6自己評価・外部評価 評価表

R7.2.20

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		
I 構造評価（Structure）〔適切な事業運営〕								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている		○			事業所理念を掲げているが、定期巡回独自の理念はない。（事業計画に行動目標あり）	・さらなる情報発信をして下さい。 ・同じような内容でも良ければ、似て作ってみてはいかがでしょう。 ・施設理念、事業所理念の掲示が確認できた。
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している		○			年度初めに説明会あり。毎月部署会議にて確認している。	・さらに理念の理解を
	3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			研修参加の機会は設けるよう調整している。今年は、外部研修に3名参加している。施設内研修は、ルサンテリオン鹿野と合同で委員会運営。委員会主催でジョブモデル等を活用した研修実施。全員が参加できている。法人研修もあり参加している。	・研修の機会をとらえ勉強して下さい。 ・積極的でよい。 ・法人内外の研修を受講されていることが確認できた（活動実績）
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			経験等を配慮し、配置している。	・配慮して下さい。

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	とできていない	全くできていない		
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			訪問看護事業所とは来所時に必ず申し送りを実施、共有ノートも作成し情報共有を行っている。	
(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			必要に応じ、シフトを変更し、配置を工夫している。	・大変だと思いますが、とても良いことです。
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている			○		3か月ごとに定期的に開催できている。サービスの提供に反映させている。	・利用者、行政、地域住民等にサービス内容を明らかにすることで、サービスの質の確保が図れている。 ・定期的に開催され、委員からの要望や助言を聴取している。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			状況に応じ、連携が取れる体勢を整えており、関係機関に随時連絡を行い、情報共有を行っている。	
(5) 安全管理の徹底								

タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			でき てい る	ほ ぼ で き て い る	と で き て い い こ	い 全 く で き て い な		
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○				年2回の総合訓練の実施、緊急時対応訓練の実施、夜間の施錠等対策はできている。災害、緊急時についての手順書あり。	・引き続き、研修や訓練の継続をお願いします。 ・しっかりできています。ばらしい。 ・緊急時対応訓練、防災訓練の実施が確認できた。
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				個人情報についての手順書あり(守秘義務・開示について)又、個人情報勉強会を実施している。	
Ⅱ 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				計画見直し毎にアセスメント実施している。スタッフ会議での評価やモニタリングは毎月実施。	・利用者ごとのアセスメントが作成されている。
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			訪問看護とのアセスメント結果のつきあわせまではできていないが、日々の情報共有を図っている。それを反映させている。	・さらに連携を取って下さい
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている		○			ケアマネと連携しプランに反映している。	・利用者の状態に合わせさらに努力して下さい。

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	とできていない	い全くできていない		
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			本人や家族の意向を確認し、ケアマネと連携し、計画作成。未来志向型の計画になるよう努めていく。	・ACPの活用はされていますか。 ・本人、家族の意向をこめこまやかに反映して下さい。 ・計画書に於いてリスク防止の為の支援が計画されている。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				状況に応じた柔軟な対応ができている。(必要であれば時間変更・プラン変更をケアマネへ提案も行っている)	・必要時には随時対応することが計画書で確認できた。
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				モニタリングを毎月行い、状況変化があれば、ケアマネと情報共有し、プランにも反映している。	・活動報告書にて状況の把握やケアマネへの報告が確認できた。
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		○			役割分担のガイドラインはないが、情報共有を行い、都度相談しながら協力して対応している。	・臨機応変な対応をお願いします。 ・連携して対応して下さい。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている					連携型の為、評価なし(いつでも相談できる体制になっている。必要時等に指導・助言はいただいている)	・連携されていてとても良い
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								

タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			でき ている	ほ ぼ でき ている	と でき てい ない こ	い 全 く でき てい な		
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				サービス開始前にアセスメントを行い、必要なサービスの説明・情報提供を行っている。	
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			計画を説明し、本人・家族と共通認識できるよう努めている。	・本人、家族には分かりやすい説明をお願いします。
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				状況変化等、こまめに家族に報告し、迅速な対応に努めている。	
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				モニタリング提出、居宅訪問時に状況報告を行い、サービス提供の変更も相談して決めている。まれだが、インフォーマルサービスを利用される時もある。	
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	○					

ガーデンハウスはまむらく定期巡回> R6自己評価・外部評価 評価表

R7.2.20

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	とができていない	い全くできていない		
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				担当者会議には必ず参加し、積極的な情報提供がされている	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)						
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)						
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)						
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				ホームページを更新し発信し、いつでも見る事ができるように努める。	

ガーデンハウスはまむらく定期巡回> R6自己評価・外部評価 評価表

R7.2.20

タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			でき ている	ほ ぼ でき ている	と が 多 く い ない こ	い 全 く でき て い な		
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			介護医療連携推進会議にて現状報告等行っている。又、地域医療へ定期巡回の様子を伝えている。居宅への広報はできていないので今後の課題。	・今後に期待します。 ・利用者の様子を地域に発信していることを確認できた。
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			毎年勉強会を開催しているが、十分に理解しているとは言い難い。	・引き続き勉強会実施しましょう。
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		○			外部利用者の相談なく、今年度利用実績なし。スタッフ会議にて外部訪問について検討を始めた。	・地域にどのようにPRしていますか。 ・さらに広報をお願いします。
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)						
Ⅲ 結果評価 (Outcome)								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			毎月のモニタリング、3カ月毎の評価で達成度を評価。 年2回満足度調査実施(利用者・家族)し、改善につなげている	・調査結果を分析し、揭示するなどサービスの向上につなげている。

ガーデンハウスはまむら<定期巡回> R6自己評価・外部評価 評価表

R7.2.20

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	とできていない	全くできていない		
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				に近づいている。	・満足度アンケートの集計、掲示が確認できた。